

## 「高速道路の建設と埋蔵文化財」

### ～日本道路公団との協力事業終わる～

#### 1. 出土遺物展示会

- (1)日時 平成15年7月22日(火)～8月29日(金)
- (2)場所 日本道路公団ハイウェイプラザ東京〔東京都港区〕
- (3)内容 東関東自動車道館山線の鹿島台遺跡出土遺物ほか、約400点の資料が展示されました。



#### 2. 発掘体験

- (1)日時 平成15年8月6日(水) 13:30～16:00
- (2)場所 南部調査事務所上宮田台遺跡
- (3)内容 親子40名、約1時間にわたり体験発掘をおこない土に触れる機会の少ない多くの子供達は大変喜んでいて好評でした。



#### 3. 勾玉作り体験

- (1)日時 平成15年8月22日(金)9:30～16:30
- (2)場所 ハイウェイプラザ東京
- (3)内容 48名の参加者が勾玉作りに挑戦、完成した勾玉を首に掛け、古代衣装を試着して写真撮影に臨んでいました。

お知らせ  
コーナー

### 遺跡調査研究発表会のお知らせ

県内の埋蔵文化財の調査・研究を行う9法人で組織する千葉県文化財法人連絡協議会では、調査成果を広く県民の皆様に紹介するために、様々な活動を行っています。

毎年行っております「遺跡調査研究発表会」を、今年度も下記のとおり開催いたします。なお、当日は出土遺物の展示や報告書等の頒布も行います。参加は無料です。皆様のお越しをお待ちしております。

- 日時:** 平成16年1月18日(日)10:00～15:30
- 会場:** 千葉市文化センターホール及び市民サロン(千葉市中央区中央2-5-1 ツインビル2号館)
- 交通:** JR総武線「千葉駅」下車徒歩10分  
京成千葉線「千葉中央駅」下車徒歩10分
- 内容:** 1. 木更津市下野洞遺跡(旧石器時代)  
2. 成田市台方下平Ⅰ・Ⅱ遺跡(弥生～平安時代)  
3. 流山市市野谷宮尻遺跡(古墳時代)  
4. 横芝町寺方古墳群(古墳時代)  
5. 市原市山倉1号墳(古墳時代)  
6. 千葉市上塚遺跡(古墳～平安時代)  
7. 木更津市丹過遺跡(奈良時代)  
8. 光町中島遺跡(奈良・平安時代)  
9. 佐原市大崎城跡(中世)

#### 問い合わせ

(財)千葉県文化財センター 資料部普及課  
電話043-422-8811(代表)

コラム

### さかのぼるの？ 弥生時代の始まり

最近、弥生時代の始まりが今まで考えられているよりも500年も古くなるとの発表があり、話題となっています。

AMS(加速度質量分析)法という、少ない資料で正確な年代が出せるC14年代測定法で、九州の弥生時代が始まる頃の土器に付いていた炭化物を測定した結果を、実際の暦年代に直したものです。

今後の検討しだいでは、教科書の記述も変えなくてはいけないかもしれませんね。実は、当センターでも表紙で紹介している西根遺跡で出土した土器の分析をお願いしていますので、そのうち結果の報告ができることでしょうか。乞う、ご期待。



資料の「炭化物」を採取する(西根遺跡)



CONTENTS

- 発掘調査速報 小櫃川をのぞむ王墓の丘
- 遺物紹介コーナー 子孫繁栄の象徴
- 遺跡今昔物語 ちはら台ニュータウン
- 埋文アラカルト コラム・埋文レポート
- お知らせコーナー



### 西根遺跡出土の縄文土器 (印西市西根遺跡)

写真は印西市西根遺跡での土器が集中して出土している様子です。  
縄文時代後期(今から3,600年前頃)の遺跡で、およそ10万点を越す土器片が出土し、その総重量は3.14tにもなります。  
出土土器を接合したものが下の3点の土器です。

表紙の説明





# おびつがわ 小櫃川をのぞむ おうぼ 王墓の丘

## ねぎし ねぎしこづま —根岸古墳群・根岸小妻遺跡—

根岸古墳群・根岸小妻遺跡は、木更津市の東、小櫃川西岸の標高約60mの台地上にある遺跡です。東京湾横断道路から延びる首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の建設に先立ち発掘調査を行っています。



上空から見た遺跡

遺跡には以前から塚が多くあることが知られていましたが、今回の調査でそれらが今からおよそ1500年前(古墳時代後期)の有力者の墓(古墳)であることがわかりまし

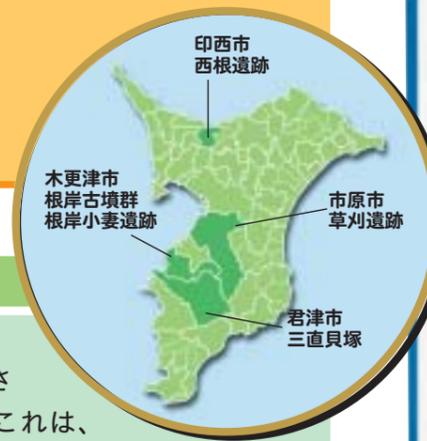


めずらしい埋葬施設

た。さらに、古墳の下からはそれより古いおよそ2000年前(弥生時代中期)の墓(方形周溝墓)も30基以上見つかり、この地が時を超えて墓域として使われていたことがわかりました。古墳は全部で18基あります。多くの古墳では頂上に、木の棺を埋めた埋葬施設があり、勾玉、管玉、丸玉などの装飾品のほか鉄の刀や矢じりなどの武器が納められていました。

この遺跡で注目されるのは、古墳の中央に四角い穴を掘り、その内側に粘土を廻らせた珍しい構造の埋葬施設です。南側は一部粘土が切れており、そこから古墳を廻る溝(周溝)まで地面が踏み固められています。これは、周溝から埋葬施設の中に入りするための、いわばこの世とあの世をつなぐ通路(羨道)だったと思われます。

去る8月23日には、この丘で現地説明会が行われ、多くの方々に王墓の流れを感じて頂きました。



## 遺物紹介 コーナー

# 子孫繁栄の象徴 —縄文人の信仰—



写真



写真の遺物を見て、皆さんは何を想像しますか？これは、君津市三直貝塚から出土した石棒です。

石棒は縄文時代に作られたもので、写真の上の大きなものは縄文時代中期のもので、約85cmにもなります。下の小さなものは縄文時代晩期のもので、彫刻が施され、丁寧に磨かれていたりするのが特徴です。

石棒は、女性の姿を表した土偶とともに、子孫繁栄や、豊かな収穫を願ってつくられたものと考えられています。今回、三直貝塚で出土した石棒は壊れているものが多く、完全な姿で出土しているものはほとんどありません。いったいどのような気持ちでつくったのでしょうか？興味は尽きません。

BC(紀元前) | AD(紀元後)

旧石器時代

約12,000年前

縄文時代

弥生時代

約2,300年前

古墳時代

約1,700年前

古代

飛鳥時代

710

794

奈良時代

1,192

1,333

鎌倉時代

室町時代

江戸時代

1,573

1,603

安土・桃山時代

明治

1,868

大正

昭和

平成

現代

# ちはら台 ニュータウン



ちはら台ニュータウンは、日本住宅公団(現都市基盤整備公団)が市原市の北端に計画した大規模な住宅団地です。600haにおよぶ広大な土地に12,000戸の住宅を建設して、50,000人が暮らす街を目指しています。

また、住宅街には遊歩道が廻り、20か所あまりの公園が緑地として点在しています。

ニュータウンの工事に先立って、昭和53年から20年以上の年月を費やして予定地内の遺跡を発掘調査しました。草刈遺跡、川焼台遺跡など、千葉県を代表する大規模な遺跡が14か所もあり、膨大な量の土器、石器が出土しています。

草刈遺跡は、ニュータウンの西の玄関口にあたる京成ちはら台駅を中心に東西1.5kmの広がりを持ち、村田川を見下ろす高台に営まれています。縄文時代から平安時代までの集落や貝塚、古墳群などがありますが、ひとつの遺跡で竪穴住居4,000軒、古墳170基は、全国でも最大規模でしょう。

駅前には古墳群の一部が「ちはら台公園」として整備され、遺跡の面影を残しています。

## 草刈遺跡



昔

草刈遺跡と建設中のちはら台駅(手前)



草刈遺跡の発掘



今

保存された古墳